

令和5年度 都城市立高城中学校 学校評価シート

○各評価者へのアンケートは以下の4段階評価で実施する  
 4：十分達成されている（75～100%）      3：概ね達成されている（50～74%）      2：あまり達成されていない（25～49%）      1：まったく達成されていない（0～24%）

【学校の教育目標】「自立 貢献」～夢に向かって最善を尽くし、社会に貢献できる自立した人間であれ～

令和5年度 都城市立高城中学校 学校評価項目

大項目	小項目	方策・手立て	具体的数値目標 (アンケートの 3・4の合計割合)	職員	生徒	保護者	小項目	大項目	考察・分析 (○成果、●課題)	学校運営協議会委員より	最終評価
全体	①学校HPや校長室だより、学年・学級通信その他の文書を通して学校の事情がきちんと伝わっている。	○行事ごとにホームページを更新 ○月1回の学校だよりの発行 ○学級通信のカラー化 ○各学期1回の教育相談の充実 ○月1回のIFTの実施 ○組織的かつ迅速な対応	80%以上	4	4	4	4	4	○学校生活への満足度が94%と極めて高い。職員に対する信頼度も86%と高く、きめ細かな教育相談などが成果の要因である。 ○ホームページを週1回以上更新や、学校・学級通信のカラー化で学校からの情報発信は活発に行われている。  ●学校ホームページの保護者や地域の方への認知度をさらに高める必要がある。	○学校・学級通信がカラーになり見るのが楽しみになった。HPも常に更新され、新しい情報を知ることができる。 ○教師の生徒に向き合う姿勢と楽しくわかる授業への転換と努力が伺える。 ○慣習に囚われず変えられることは変えて運営をされている。その姿勢に生徒、保護者も先生方のやる気を感じていると思う。	4
	②学校生活に満足している。		80%以上	4	4	4	4				
	③信頼できる先生がいる。		80%以上	4	4	4	4				
確かな学力の育成 [すぐれた知性]	④授業の内容がしっかり理解できている。	○一人一授業による授業方法改善 ○ICTの効果的な活用 ○Qubendによる基礎・基本の定着 ○校内研究を通じた、「わ・さ・び」の視点での授業づくり ○テスト・諸検査の分析 ○図書館サポーターとの連携	80%以上	4	4	3	4	4	○「わ・さ・び」を基盤としたICTの活用や学び合いを取り入れた授業研究の成果が見られ、質問⑤は90%以上の生徒が肯定的な回答となっている。 ○一人一授業に取り組むことで、学習内容の定着や考えを深める場面の設定を工夫することができた。  ●テスト・諸検査の分析をし、授業内容の定着など更なる学力向上に努める必要がある。	○タブレットがうまく活用され、生徒同士の情報交換や、生徒と教師の1対1のやりとりが活発に行われ、学校全体の学力向上につながっていくことが期待できる。  ●⑥の質問に対する生徒と職員の評価の差が気になる。教師が自らの授業を厳しく評価している点もあるだろう。	3
	⑤授業の中でクラスメイトなどと協力したり、意見を交換したりしながら参加できている。		80%以上	4	4	4	4				
	⑥授業を通して、自分の考えを深めたり広げたりできている。		80%以上	3	4	3	3				
豊かな心の育成 [豊かな心]	⑦ 思いやりや感謝の気持ちをもって他者と接することができている。	○道徳の時間の授業の充実 ○命の教育の充実（年間3回） ○情報モラル教育の充実（年間3回） ○各学期1回の教育相談期間の設定 ○毎月の生活アンケートの実施 ○生徒会を中心とした生徒主体の活動の充実 ○スクールカウンセラーなど、関係機関との連携	80%以上	4	4	4	4	4	○命の教育や情報モラル教育を充実させたことで、命を大切にす気持や思いやり、感謝の気持ちが育まれて、いじめのない学校・学級づくりにつながっている。 ○生徒会による地域貢献活動も生徒の自立につながり、豊かな心が育まれている。 ○毎月のアンケートや定期的教育相談を充実させることで、いじめのない学校・学級づくりに学校全体として取り組んでいる。  ●自分から考え、判断し、見通しをもって行動する態度は、自立につながるものであり、今後とも様々な場面で育てていく必要がある。	○以前と比較して、学校全体が落ちついており、生徒がとても素直で楽しそうに伸び伸びとしており、思いやりの心が育まれていると感じる。 ○思いやりの心をもって他者に接することができ、いじめのない学校づくりをしている。先生方がしっかりと相談ののてくださっているのだと思う。 ●あいさつで声をだすことが苦手な生徒にも思いやりをもって接してほしい。	4
	⑧ 先生や友達にしっかりと「あいさつ」と適切な「言葉遣い」ができている。		80%以上	3	4	4	4				
	⑨ いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。		80%以上	4	4	3	4				
	⑩ 自分から考え、判断し、見通しをもって行動できている。		80%以上	3	4	3	3				
たくましい体づくり [たくましい体]	⑪ 運動や部活動・校外スポーツ等に積極的に親しんでいる。	○弁当の日の設定 ○保健体育の授業での補強運動 ○生活ノートによる家庭生活の振り返り ○保健だよりでの家庭への啓発	80%以上	4	4	4	4	4	○運動や部活動に多くの生徒（89%）が積極的に親しんでおり、たくましい体づくりに取り組んでいる。  ●規則正しい生活が十分送れていない生徒もおり、家庭において生活のリズムをどのように整えていくかが大きな課題である。	○部活動等で成果がでており、たくさんの生徒達が頑張っていることが分かる。 ●規則正しい生活にやや課題を感じるなど、家庭の一員として家庭の仕事を任せると、家庭の課題として捉える必要がある。	4
	⑫ 「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけ、規則正しい生活を送ることができている。		80%以上	3	4	3	3				
キャリア教育の推進 [ふるさと教育]	⑬ 将来の進路や生き方についてよく考えている。	○生徒会を主体とした地域でのボランティア活動等の実施 ○総合的な学習の時間の充実 ○キャリア教育に関する外部機関との連携 ○まちづくり協議会、社会福祉協議会、各公民館との連携	80%以上	3	4	3	3	3	○生徒会を主体とした、地域の方々と連携した地域貢献活動に取り組むことができた。今後も継続して取り組み、地域貢献と生徒の自立につなげたい。 ○2学年を中心に外部人材によるキャリア教育を推進することができた。  ●学校での取組が自分の住む地域の行事への参加につながるとうよい。 ●自分の将来の夢や目標について考える場面を更に掘り下げる必要がある。	○地域貢献活動は評価できる。特に生徒会が自主的に取り組んでいる活動は今後地域でも生徒の存在感が見えて、更に前向きに深化した取り組みに発展させてほしい。 ○県のキャリア教育サポートセンター等外部機関との連携も積極的に進められている。 ●地域行事を保護者が理解していない可能性がある。	4
	⑭ 将来の夢や目標を持っている。		80%以上	3	4	3	3				
	⑮ 地域の行事等に参加し、貢献できている。		80%以上	4	3	3	3				